

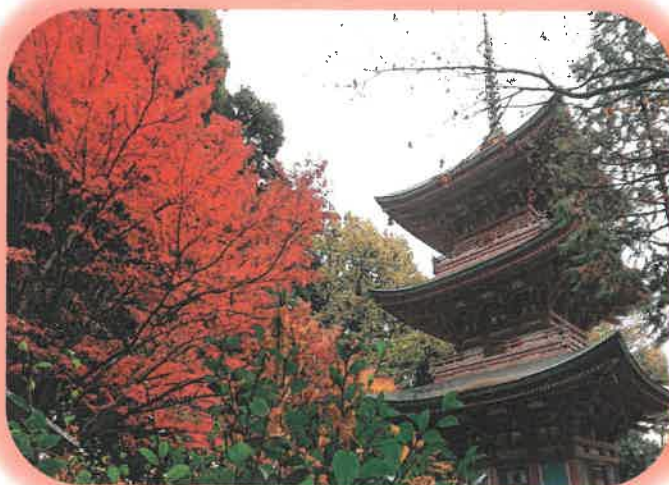
笑顔満天

第 11 号

H30. 11. 1



【発行】
〒651-1621 神戸市北区淡河町神影115
児童養護施設 天王谷学園
078-958-0302 FAX 078-958-0346



去年の原稿に、天候に振り回され猛烈な暑さ・真冬並みの秋・・・と書きましたが、今年
は台風・大雨と異常気象といわれました。いったい世界の気候はどうなるのでしょうか？
と心配しながら、淡河は実りの秋の真ただ中、新米にサツマイモ、お鍋の時期になりました。
子ども達の食欲は旺盛でうらやましい限りです。

さて、児童養護施設の今後を考える機会がたくさんあります。昨年「新しい社会的養育
ビジョン」が出され、課題を突きつけられています。先日の全国児童養護施設長研究協議
会でも、形態も大舎制から地域小規模までいろいろある中で、それぞれの立場で議論しま
した。児童処遇について喋り出すと皆さん熱く止まらなくなり刺激をたくさん頂きました。
職員の採用、育成も地域差はあるが、ものすごく苦勞し工夫しています。その中でも
いかにして世の中で認知され地域に貢献していくかの実践が求められています。正念場か
と考えます。

施設では真ん中にいる子ども達は今年も元気で、本当に良く頑張っています。小学生は
フットサルで神戸市大会を連覇し、近畿スポーツ大会に出場し5位になりました。毎日学
校まで往復5キロを通学する日々の積み重ねで体力も根性もつき田舎にある施設の利点
を感じています。

パンダこうとく保育園も元気です。定員一杯に近い幼児さんが毎日元気に動き、新しく
入った総合遊具も大活躍です。来年度の入園者も問い合わせがありうれしい限りです。是
非とも皆さんの協力を得て「淡河の保育園」として地元の方に愛されるよう活動してい
きますのでご支援のほどお願いいたします。

児童福祉を取り巻く環境も激変するかもしれませんが、施設の特徴は何かを改めて考え
ながら養育して行こうと思います。まずは現場の様子を「笑顔満天」でお楽しみくださ
い。

社会福祉法人天王谷学園 理事長 波来谷 徹生





フットサル近畿大会



第67回近畿児童福祉施設スポーツ大会に神戸市の児童養護施設代表としてフットサルの近畿大会に出場しました。結果は12チーム中5位と健闘しました。試合で「勝ち」にこだわることも大切ですが、天王谷学園は結果よりも過程を大切にしています。

今回の近畿大会を通して、最後まで頑張りきる力が育まれたり、他者を思いやる心が養われたりとたくさんの財産を得ることができました。この経験を、施設での日常生活や、学校生活に生かせるよう支援していきたいと思います。(松本)



園内運動会



園内運動会を本園のグラウンドにて去る10月8日に開催致しました。毎年恒例の園内運動会では幼児から大学生までの児童が職員と一緒に紅白に分かれて競技に参加します。今年は大変天候にも恵まれ少し暑いくらいの天気の中、昼から玉入れや障害物リレー、神影地区一周など一日頑張って競い合いました。

運動会が終わった後は皆が楽しみにしているバーベキューを行い楽しい時間を過ごすことができました。ご協力頂いた小学校、地域の方々に感謝申し上げます。(澄生)



海水浴



8月7日～8月9日にかけて、竹野浜に海水浴に行きました。天気にも恵まれて子どもたちも元気いっぱい海水浴を楽しみ、楽しみにしていた夕飯も残さず最後まで楽しみました。海水浴を楽しんでいる時も風が強かった為、波が高い時間もあり、子どもたちはその波に揺られて大いに楽しんでいる姿も見られました。またイベントで砂山を作り棒倒しをしました。

子どもたちが3チームに分かれて競い合いました。真剣勝負で子どもたちも職員も白熱した戦いになりました。(山本)





バレーボール大会



8月27日王子スポーツセンターでバレーボール大会がありました。天王谷学園は去年優勝することができ今年も優勝を目指し練習をしました。

メンバーが去年とは変わり、バレーボールを経験したことがない子も試合に出て、それぞれが一生懸命プレーをしました。結果は残念ながら予選で敗退となり悔しい思いをしましたが、「次は勝つ！」という気持ちでまた来年に向けて練習を頑張っていきたいと思います。(南)



ふるさと祭り



小学6年生は太鼓を、中学生はソーラン節を披露してくれました。たくさんの人に見守られ緊張していたはずですが、緊張など全く感じさせない真剣でカッコいい姿でした。

様々な屋台で揚げや、焼きそば、かき氷等、美味しそうにほおばっている様子があちこちで見受けられました。小学生は大きな氷の中に入った沢山の玩具を掘り起こすことに終始必死になっている姿が微笑ましかったです。それぞれ皆満足しているようでした。

(川辺)



キャンプ



今年は久しぶりに全体のキャンプとして、京都にある久多キャンプ場に行きました。初めて行く場所だったので不安もありましたが、親和大学の大学生のボランティアにも力を借りて楽しい2泊3日を過ごす事ができました。

昼間は川遊びで、大きい子は岩場から飛び込んだり、小さい子は水辺で生き物を探したりとそれぞれが楽しみ、ご飯も自分たちで調理してBBQやカレーなどキャンプの醍醐味と言えるメニューでお腹いっぱい食べ、夜はテントで寝るという普段とは違う雰囲気や景色を皆が満喫していました。(田川)



淡河八幡神社秋季例大祭



10月7日淡河八幡神社にて秋季例大祭がありました。毎年10月第1日曜に行われており、今年は職員3名、中学生9名が神輿のかき人として参加しました。

事前の練習もかねた場ならしが雨で中止になり、何も分からぬまま迎えた当日で不安そうにしている子もいましたが、地域の方の優しい指導を受け、一致団結して、一生懸命声を出して神輿をかついで神社周辺を練り歩きました。子ども神輿もあり、小学生以下の子達も参加し楽しんでいました。(杉村)



子どもの安全管理委員会



子どもの安全管理委員会では大きく分けて2つの役割を担っています。1つは避難訓練やヒヤリハット・事故報告書等、子どもの安全面についての配慮・検討・改善を繰り返し実行していくことです。避難訓練においては今年度から不審者対策を新たに取り入れ、火災想定と震災想定を加えた3つを月毎に組み合わせながら実施しています。

もう1つは子どもの権利擁護の観点から子ども会の実施を行っています。正確には各フロアに子ども会の実施の声掛けや子どもから挙がってきた声に対しての各フロア担当としての思いや他フロアとの調整又は施設全体で考えるべき内容かどうかを分類・検討しています。(河村)



苦情申出件数：現在のところ0件です

9月29日(土)に行われる予定だった幼稚園運動会があいにくの天気で10月2日(火)に延期となりました。当日は子どもたちが早く運動会をしたいという気持ちにこたえたかのような晴天に恵まれ良い運動会となりました。

グラウンドでは小学生、幼稚園の子どもたちの大きな声が響き渡りました。子どもたちはかけっこや竹馬、パラバルーン等どれも一生懸命頑張っていました。最後には景品をもらい堂々と校歌を歌う姿を見せてくれ、年長さんは幼稚園最後の運動会でしたがとても頑張る姿を見せてくれました。(中井)



パンダこうとく保育園

保護者の皆様や地域の皆様にご協力をいただきまして、パンダこうとく保育園は4年目を迎えました。今年度は、新入園児を4名迎えて10名でスタートしましたが現在16名と、とてもにぎやかな保育園となっています。また、淡河の地域だけでなく近隣の地域から通う子も増え、保育園の発展を嬉しく感じています。

昨年度より実施している「幼稚園終了後の預かり保育」を利用して、本園卒園後も来てくれる淡河好徳幼稚園児から、「幼稚園でこんなのできるようになったよ」と、日々の成長を見せてもらっています。預かりの幼稚園児と保育園の子どもたちが交流する機会があることも、とても嬉しです。

今年は親子七夕まつり、親子運動会といった“親子で一緒に楽しむ”を基に親子行事を行い、親子七夕まつりでは、親子で一緒に笹飾りを作って伝統行事に親しみました。親子運動会には、お家の皆様が約50名来てくださいました。子どもたちの大好きな「NHKおかあさんといっしょ」のブンバボン体操、木の実拾いやカボチャマンに変身した親子演技に加えて、アンパンマン号に乗ってカーレースも繰り広げました。

また、幼稚園児、小学生によるドーナツ食い競争、保護者によるキャタピラーレースも行いました。おじいさん、おばあさんにも参加してもらい、どれも白熱戦で、笑いあり涙ありで、みんなが交流しながら楽しみました。

秋になると、保育園の周りには秋ならではの自然物が沢山潜んでいます。11月の淡河町文化祭では、子どもたちが青少年公園や淡河町公園で拾ったどんぐり、まつぼっくり、落ち葉を使って作った作品を展示しました。自然豊かな淡河の公園で木の実拾いを楽しみ、それを使って制作遊びを楽しむ子どもたち。自然に沢山触れることができとてもいい体験となりました。

パンダこうとく保育園は、淡河という温かい自然豊かな地域の中で、大きく成長させてもらっていると感じています。これからも地域の皆様に見守られながら、子どもの健やかな成長を願って頑張っていきたいと思えます。



みんなでブンバボン体操！！

<<編集後記>>

学園の周りはずっかり秋に模様替えが終わってぼちぼち冬支度が始まっています。すぐ傍にある石峯寺さんの三重塔も紅や黄色の鮮やかな木々に囲まれてその美しさを際立たせています。子ども達もクリスマスやお正月の気配を感じているのかテンションが高くなっています。今年も色々な事がありましたが、穏やかに平成を締め括りたいものです。(西ノ)